

## 伊藤忠グループボルネオ熱帯林再生プログラムの植林完了報告

2008年の伊藤忠商事の創業150周年を記念する社会貢献事業としてボルネオ島熱帯林再生プログラムを開始し、伊藤忠グループで推進してきました。当社も、伊藤忠グループの一員としてその活動を支援して参りました。

この度、[WWF ジャパン](#)(公益財団法人世界自然保護基金)より、「2014年7月15日に植林作業は終了した」との連絡が正式にありましたのでご報告致します。

### 1. センチュリーメディカルの活動報告

2009年度より5年間に渡り、総額340万円を寄附

### 2. 熱帯林再生プログラムの内容

・マレーシア、インドネシア、ブルネイの三カ国の政府が合意したボルネオ島の2200万haの持続的資源利用と保護の両立を目指す“Heart of Borneo”と呼ばれる活動の一環。

・具体的には、森林伐採等により劣化が進んだ熱帯雨林を植林によって再生し、オランウータン等の生息地を確保し、生態系の保全に寄与するプログラム。

・その中で、マレーシア国サバ州では、WWFが2400haの森林再生活動を実施しており、伊藤忠グループは、一般企業としては最大規模の967haを“ITOCHU Group : Forest for Orang-utan”の呼称をつけ支援。

・伊藤忠グループ支援企業 21社

・支援概要

場所: マレーシア国サバ州北ウルセガマ地区

期間: 2009年～2014年

面積: 967ha(東京都港区の約半分の面積)

寄附金額: WWF ジャパンへ 250百万円

(内訳: 伊藤忠商事 196百万円、グループ会社合計 54百万円)

### 3. ボランティア活動概要

2009年11月～2012年12月に計4回、合計61名のグループ企業社員が活動を行った。具体的には、森林再生地での植樹、保守作業、WWFによる生態系保全重要性の講習及び自然観察。

### 4. WWF 報告より

2014年7月15日植林完了。寄附の用途は、植林136百万円、現地管理費用66百万円、WWF(世界・日本)活動費48百万円。

以上